

酒の文化を辿る

「酒」、祭礼はもちろん日常になくはならぬ存在として、また信仰とともに歩みを重ね、神の旨に叶う労働の副産物として育まれ、おそらくは人間の起源とともにあったであろうこの不可思議な液体、「酒」とはいったい何であろうか。それは生活のリズムを刻み、人の心を解きほぐし、ときには詩を生んできた。古今東西、その風土と時代により、その表情のなんと多彩なことか。本講座では様々な時代、地域をめぐり「酒」の持つ文化の背景を辿ってみたい。

〈講座責任者〉 国際文化学部 国際文化学科 教授 中島 和男

●開講期間

10月20日(月)～12月8日(月)
11月3日(月)・11月24日(月)は、ありません。

●時 間

各回 18時00分～19時30分

■10月20日(月)開講式
17時45分～18時00分

■12月8日(月)修了式
19時30分～19時45分

●会 場

西南学院大学内
西南コミュニティーセンター 1階ホール

●応募期限

10月10日(金)まで
ただし、その前に定員に達した場合は、締め切らせていただきます。

●受講対象者

一般

●定 員

100名

●受 講 料

4,000円[6回合計]

受講申し込みについては裏面をごらんください。

【主催】西南学院大学

【問い合わせ・申し込み先】

西南学院大学 学外連携推進室
〒814-8511 福岡市早良区西新6丁目 2-92
TEL:092(823)3232 FAX:092(823)3249
メールアドレス renkei@seinan-gu.ac.jp

第1回 10月20日(月)

ディオニュソスと巫女マイナス達 — 葡萄酒をめぐる祭儀と遊戯 —

国際文化学部 国際文化学科 教授 井口 正俊

第2回 10月27日(月)

ビールが似合う街 —欧州ビール紀行—

国際文化学部 国際文化学科 教授 中島 和男

第3回 11月10日(月)

カリフォルニア・ワインとテキサス・テキーラ —アメリカの歴史をグラスを通して眺める—

法学部 国際関係法学科 教授 大隈 一武

第4回 11月17日(月)

中国文化と酒

国際文化学部 国際文化学科 教授 新谷 秀明

第5回 12月1日(月)

なぜ鹿児島は焼酎文化か？

国際文化学部 国際文化学科 教授 森田 英之

第6回 12月8日(月)

「さけ」の起源

国際文化学部 国際文化学科 教授 岩尾 龍太郎

シンポジウムについて

12月8日(月)最終日の修了式終了後(19時50分～21時頃を予定)、学内でシンポジウム(有料、試飲付)を行います。
シンポジウム参加については、希望者のみ(当講座受講者に限る)といたしますが、金額や申込方法など詳細は開講式の際にお知らせいたします。